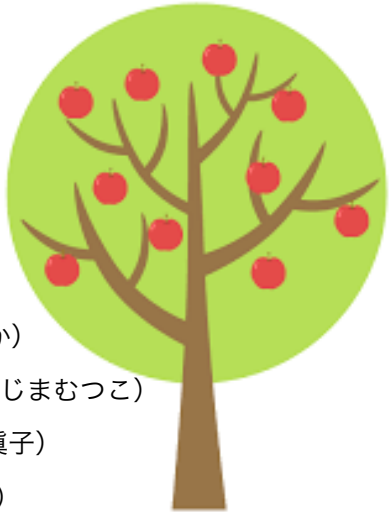
おやこであそぼう

～　絵本と、わらべうたの時間　～

2017年 11月15日



今月の絵本と紙芝居

《福音館書店》

あかいりんご（作・絵：なかのひろたか）

りんごたべよう（作：なかむらまさこ／絵：なかじまむつこ）

おおきなあかいりんご（作・絵：垂石眞子）

たべたいな（作・絵：みやまつともみ）

《講談社》

りんごはいくつ？（作・絵：よねづゆうすけ）＊

りんごが コロコロ コロリンコ（作・絵：三浦太郎）

くだもの だーれ？（作・絵：よねづゆうすけ）

おさるのおいかけっこ（作・絵：いとうひろし）

《童心社》

りんご（作：松野正子／絵：鎌田暢子）

ぶたちゃんりんごちゃん（作・絵：まついのりこ）

かけっこどん～紙芝居～（作：すとうあさえ／絵：相野谷由紀）

これはりんご（作：中川ひろたか／絵：和歌山静子）

りんごのき～紙芝居～（作：たけしたふみこ／絵：いちかわなつこ）

《その他の出版社》

りんごあかくなーれ（ひかりのくに）作：岸田衿子／絵：長新太

くだものさん（学研）作・絵：ツペラツペラ

りんごがたべたいねずみくん（ポプラ社）作：なかえよしを／絵：上野紀子

パパがやいたアップルパイ（ほるぷ出版）作：ローラ・トンプソン／絵：ジョナサン・ビーン

☆りんご

フィンランドには『リンゴの実はリンゴの木から遠くへは落ちない』という諺があり、
日本の諺『蛙の子は蛙』と同じような意味だそうです。
子どもたちは長所も短所も、だいたい親に似ていて、
子どもは親の素質を受け継ぎ、親を飛び抜けて
上出来の子どもは、
それほど多くはないということなのだとか・・・

親に似ていることは何よりも素敵なことです。『親は子の鏡』とも言いますね。ご存知と思いますが、「子どもが育つ魔法の言葉」の中にある言葉をご紹介します。

『励ましてあげれば、子どもは自信を持つようになる。
　誉めてあげれば、子どもは明るい子に育つ。
　愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ。
　親が正直であれば、子どもは、
　　正直であることの大切さを知る。
　守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ』

子どもにとって何が大切か考えながら、日々、子どもを育てるのは大変ですが、そのことは、いずれ自分つまり親にもどってきます。

『とげとげした家庭で育つと、子どもは乱暴になる』という文もありますが『和気あいあいとした家庭で育てば、子どもは、この世はいいところだと思えるようになる』と結ばれています。

イギリスでは『１日１個のりんごは医者を遠ざける』という諺もあるくらいです。寒い冬、まさに旬の瑞々しいりんごに、さつまいもや干しぶどうをお伴させて、やさしいおやつを作り、あったかいお部屋で、あったかい時間を、お子さんと過ごされては如何でしょうか？

☆わらべうた・童謡

♫はなちゃん
　はなちゃん
りんごが　たべたいの　はなちゃん

♫くだもの
もも　りんご　なし　パイナップル

♫まつぼっくり
まつぼっくりが　あったとさ　たかいお山に　あったとさ
ころころころころころ　あったとさ　おさるがひろって　たべたとさ

次回は　2017年 12月20日（水）

お問い合わせ
クリスト・ロア修道会
TEL０４２（４６５）８６２０